

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第2回相模原市行政区画等審議会		
事務局 (担当課)		企画部政令指定都市推進課 電話042-769-8248(直通)		
開催日時		平成20年6月17日(火) 午後7時30分～午後9時5分		
開催場所		市役所第2別館3階 第3委員会室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	7人(企画財政局長、政令指定都市担当部長、 政令指定都市推進課長、課長代理、担当主幹、 市民活力推進部長、次長)		
公開の可否		可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可 <input type="checkbox"/>	傍聴者数	3人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 報告事項 3 議題 行政区画の編成について 4 その他 5 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

牛山会長の司会のもと、開会を宣言するとともに、委員の出欠状況の報告がされた。

2 報告事項

事務局より、資料1に基づき、前回の審議会の経過が報告された。

3 議題（○委員の発言、□会長の発言、△副会長の発言、●事務局の発言）

牛山会長の進行により、議事に入った。

事務局より、資料2及び資料3に基づいて、区割り検討試案の比較検証結果及び区割り試案と現況行政圏域一覧について説明がなされた。

委員から、区割り案に対する意見が述べられた。

相模湖の地域協議会には、経過を6/24に報告する予定。もともと合併協議の議論において、4町ではだめだから、相模原市に出ようとしたもの。私個人の意見としては②案を支持。人口バランスが均等に割れている。もう一つ、昨年に新潟市の人口の少ない2つの区の視察をした。新潟市は人口80万5千程度で、相模原市より10人万程度多いだけであるが、8つの区に分けたもの。一般の住民の方にも話を聞いたが、「つながりが深い地域で区割りし、8つの区としたが、人口が少なすぎて失敗だった」という意見があった。

人口バランスが一番大事と思う。相模原市の合併経緯、津久井地域と相模原市の文化の違いという要素がある。旧市は合併してよりあい所帯になった要素がある。津久井地域は、すばらしい文化、古くからの文化がある。津久井と旧相模原市の融合が必要であり、②案が最も理想。

産業界からの視点としても、津久井地域の人口構成が右肩下がりになる点は、産業の活性化も傾いてしまう。議員の定数の話よりも、個々の産業の活性化のバランスが重要。

城山は、相模原市と地続きで境はわからない。生活圏は橋本、大沢であり、旧町民は旧相模原市との合併を望んでいた。城山町の住民は東（橋本、大沢方面）を向いている。それほど身近な話。②案の3区制でなければ合併の意味がない。相模大野、相模原、橋本、人口バランスのとれ

た案。人口バランスが重要。

要望としては、国道16号の西に区役所を作っていただきたい。16号は渋滞が激しく、交通アクセスが不便。サンエール辺りが妥当かと思う。また、総合事務所があるが、一層使いやすいものとするよう合併協議での合意事項である協定書の内容を尊重していくことや、先般地域まちづくり会議の提言書でも要望したが、職員数の確保、組織の再編によってサービス低下を招かないようお願いしたい。

医師会は医療サービスを提供する方の立場であり、個々の案についての支持は控える。医師が不足している状況であるが、限られた資源の中で市民へのサービスを上げることはあっても、落とすことはできないと考えている。津久井地域は、津久井郡医師会があり、地域の特異性、地域に密着したサービスを行っている。医療サービスを分断しないよう、4町を大事にするということが必要。

青年会議所で多数決をしたところ、皆さんの意見のとおり、圧倒的に②案であった。ただ、区ごとの税収面に着目してみたときに、環境税が導入されるとしたら、④案もあるのかなという少数意見もあった。

6/9に地域協議会があり、その場において議論があり、委員さんの意見を率直に聞くと、市で実施した意見募集の結果と同じような結果になった。3区制の②案と4区制の④案が有力。4区制の④案も検討すべきものではあるが、最終的には②案にきまるのではないかというものであった。個人的には3区制の②案を支持。理由としては、

- (1) 旧市と津久井の合併後の一体化、相模原市民としての意識、人口規模を保つことが大切ということ
- (2) 旧3町では、人口増加の要素が少なく、地域が疲弊する。また、合併前の津久井地域を引きずること、感情だけが残ることがいいことなのかという問題がある。
- (3) 区役所を橋本に置かれる事についての懸念よりも、津久井で1つの区になるという疎外感の方が大きい問題。さきほど区役所を国道16号よりも西にという話があったが、津久井地域はバスに頼るところも多い。十分な駐車場があればよいと思う。
- (4) ②案でいくと、それぞれ3つの区にプロジェクトを抱える。南は新交通システムと圏央道の相模原インターから16号までの道路整備、中央は、小田急多摩線の延伸、北は、津久井広域道路やリニア

新幹線。それぞれの区において、次世代に引きつぐ、夢のあるプロジェクトがある方がベスト。旧4町での合併は否決されたように、次の世代が夢を持ってまちづくりに参加できるようにでなければならない。

郵便局の立場で言うと、例えば「富士見」というような小さい町を割るような議論ではないので問題はない。例えば、B区では相模原局が配達したり、橋本局が配達したりということはあるが、サービスの低下にはならない。皆さんの意見に従いたい。

合併後の相模原市の教育をどのように考えていくのか、組織改革の議論を行ったことがある。津久井は100年を超える学校も多くあり、津久井の教育と20、30年しか経っていない学校もある旧市の教育とでは大幅に違う点がある。市が1つになっていく中で、津久井の良さと旧市の良さをどう融合させていくのかという点からは、①案と③案のように津久井を1つの区割りで考えると、今までどおりになってしまうのではないかと、校長会の議論からすると、津久井地域と旧市の融合の点から、①、②案は違う。②案か④案あたりかと思う。

藤野は山梨との県境という地域。理想は②案と思う。人口バランスがよい。藤野は不便で、高齢化が進む地域。④案のA区の人口4.9万人では、区役所としての機能、サービス、財政的な面で、人口が少ないために格差が出ることを懸念する。もし、橋本が区役所になるとしたら利便性の点で④案がいいのかなとも思う。②案か④案の方向性かと思う。行政サービスの点が懸念するところであり、区役所が津久井にあるか同じサービスを受けられるかというような②、④案でもう少し検討することがよい。

津久井との合併を考えるのであれば、②案がよい。ただ、合併したのに行政サービスがいきとどかないのであれば課題があるが、②案がいいと思う。

②案がよいと思う。

- (1) 将来的にも人口バランスがよい。
- (2) 生活圏と整合している。保健所等生活がしやすい。
- (3) 橋本が区役所だと、津久井4町の行政サービスの点でとまどいが

あるが、津久井の行政サービスを良くするようなことを考えていくのであれば、②案がよい。

3区がいいのか、4区がいいのか判断に迷う点がある。人口バランスや地域づくりの核という点では②案が一見良さそうである。しかし、地域の特殊性を考えると、4区の④案も捨てがたい。④案の方が地域づくりの考え方や行政施策として自然や水源、観光を持ち込みやすい。3区制にした場合、旧3町はどうなるのか、橋本、大沢、城山が中心になってしまい、かえって取り残される心配もあるのではないかと。行政効率を考えると④案より②案と思うが、地域づくりの点で②案と④案に両方に○をつけたい。意見にあった津久井地域が取り残されるという点については、政令市の行政区は特別区ではなく、身近な行政の1つにすぎず、市民の同一性は心配するほどのものではないのでは。横浜をみても北と南は大きく違うが、隣り合っているところについては、そうでもない。このような心配は新しい施策をもって消えるものと思っている。

③案、④案は人口バランスが悪い。②案がよい。職員を減らすとの話がある。区役所の位置が遠いことはいいが、総合事務所をしっかりと欲しいところ。歴史、文化、これらを交流を深めていくのがよい。地域特性は交流を深めて融合することが必要。

②案、④案にした場合の旧3町に配慮する施策は、だいたい察しがつくところである。何をもってバランスと考えればよいのか、警察、消防との整合性を考える必要はあると思う。個人的には②案がよいと思う。

バランスや合併の経緯が意見として出されたところ。自治会としては行政サービスの格差があってはならないという立場。②案の3区制しかないのかな、細かいところはこれから詰める部分もあるのかもしれないが。区に合わせて、福祉、土木などを区の中でできるように課題として進めてもらいたい。

②案がいいと思う。すばらしい自然環境と旧市との融合の点でよい。相模湖、藤野は、相模原市にとって西の玄関口という意味合いがある。その点でも橋本とのアクセスを十分検討して欲しい。

全体のご意見を伺うと②案に賛同が多く集まっているのかと思う。

社協の組織もこちらが決まらなると決まてこない。地域福祉の視点から言うと、現在市内に6つの社協事務所がある。限られた人数の中で地域福祉を担うという意味では、職員は②案がよいと考えているようだ。細かい点は次回以降詰めていきたい。

みなさんの意見の1つの特徴として、

(1) 相模大野付近が1区となることには異論はない。

(2) 津久井と橋本以西をどうするかが課題であるが、意見を聞くと、②案が必然的と思う。

この中で橋本に区役所をつくと不便ではないかという意見があったが、橋本は八王子を経由すれば便利であるという考え方もある。

今回全委員から意見をお聞きしたのは、多数決を取ったものではないが、②案を支持する人がほぼ全員いる中で、④案も捨てがたいとか、一つの案には決めがたいという方がいらっしゃる。合併をしたという経緯から橋本から西をどうするかということが議論の中心となっている。私は座長でもあり、意見を強く申し上げるつもりはないが、当初は④案もあるのかなと思っていたが、津久井地域の皆さんが、津久井を切りはなす、合併の意義が薄れるというイメージへの懸念が強いことで、②案がよいのではという意見が多い。

本日は最低限二つの案に絞りたいと考えていたが、今日の議論の中で、本日②案に一本化して、今後議論していくのかどうか伺いたい。もう一つの課題として、区役所、総合事務所、行政サービスがどうなるかという点を考えていく必要がある。この議論をしていく際には今日の議論を踏まえた中で、有力なのは②案としながら、④案も残して議論をするのかということである。

④案を推していた方からも何か意見があれば伺いたい。

迷っているといった部分について、効率でいうと最終的には②案かなと思う。区割りの問題ではなく、自然環境を守るのか、定住人口を増やすのか、一緒の区になっても、相模原市の中で自然、水源を守るというきちっとした位置づけが大切で、市の計画などに書き込んでいく必要がある。自然環境を守り、かつ、定住人口を増やすというのは難しい。

さきほど④案と②案と言ったが、人口等いろんな点を考慮すると②が理想。高齢化が進む中でサービスの提供がどうなるのか、便利さという視

点からの発言である。広報を見てみると本庁と区役所、総合事務所といった組織の中で総合事務所の機能が現在より幅が狭くなる印象だ。現在65名の藤野の総合事務所がさらに縮小されるのではと心配している。

自然に特化するという視点で考えると、津久井3町という④案も捨てがたいという気もする。全体的には②案であるが、別案にするようなことがあればということで、④案を残すことはどうか。

医師会としては医療の供給側。決まったら決まったで早く対応してゆきたい。できれば今日中に決めてもらいたい。

私は地域協議会の代表という立場なので、協議会に報告してから決めたい。まだ審議スケジュールもあることであるし、②案を有力案として、④案も残すほうがよい。

多くの委員が②案を支持しており、有力な案であるが、④案も検討案として残した中で、今後行政サービスのあり方などの議論をしてゆくことでよいでしょうか。

委員一同 （異議なし）

なお、①案については、津久井地域と相模原市の合併の経過、また、B区の人口が著しく不均衡である点から、③案についても津久井地域と相模原市の合併の経過から、本審議会としては検討案として残さないことでよいか。

委員一同 （異議なし）

また、次回の会議においては、区制を実施する上での課題についても議論していきたいと思いますが、そのような進め方でご異議ないか。

委員一同 （異議なし）

異議なしと認め、そのように進めます。
以上で本日予定していた議題はすべて終了した。

4 その他

事務局から次回日程等について事務連絡を行った。

(第3回開催日程)

平成20年7月1日(火) 午後7時30分～

市役所第2別館3階 第3委員会室

5 閉会

相模原市行政区画等審議会委員名簿

平成20年5月31日現在(五十音順)

氏名	所属団体等	出欠席 (第2回)
荒井 正次	相模湖町地域協議会会長	出席
牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部教授	出席
梅澤 カツ子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら理事	欠席
河本 洋次	相模原商工会議所会頭	出席
菊地原 一朗	城山町地域協議会会長	出席
桐生 迪介	相模原市医師会副会長	出席
小池 重憲	相模原青年会議所専務理事	出席
小嶋 省二	津久井町地域協議会会長	出席
小林 一盛	相模原郵便局お客様サービス部長	出席
篠崎 脩一	相模原市公立小中学校校長会副会長	出席
志村 忠光	公募委員	出席
首藤 智美	公募委員	出席
代田 昭	相模原市自治会連合会監事	出席
武田 真一郎	成蹊大学法科大学院教授	出席
田所 昌訓	相模原市自治会連合会副会長	出席
千葉 東一	相模原地域連合議長	欠席
常盤 一夫	神奈川県警察本部警務課企画室長	欠席
中道 重幸	藤野町地域協議会会長	出席
根岸 清	相模原市農業協同組合代表理事組合長	出席
藤井 邦彦	神奈川県総務部市町村課長	欠席
細谷 昇	相模原市自治会連合会会長	出席
村上 洋二	公募委員	出席
吉本 一夫	相模原市社会福祉協議会会長	出席

◎ : 会長 ○ : 副会長